

変額個人年金保険GF(Ⅳ型)〈年金原資保証特約(Ⅳ型)付加〉

とどくんですプレミア

2013年度（平成25年度）特別勘定の現況

●投資環境(2013年度)

日本株式市場

日経平均株価は期初12,371円で始まりました。4月の日銀の金融緩和を受け外為市場で円安が進行し、主に本邦輸出企業の業績改善への期待から5月に株価は15,942円まで上昇しましたが、6月には、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言や安倍首相の成長戦略への過度な期待の反動等の影響で、12,415円まで反落しました。その後は、一進一退を繰り返しながら下値を切り上げる展開となり、12月に外国為替市場において1米ドル＝105円台と円安が進む状況の中で、16,320円まで上昇し2007年12月以来の高値をつけました。年明け以降は、新興国通貨安等の影響で株価はやや下落し期末は14,827円で終了しました。

外国株式市場

期初、S&P500は1,569.18、FTSE100は6,411.74で始まりました。米国をはじめ世界各国では金融緩和方向の政策が採られる中、景気はゆるやかながら回復傾向を示し、市場ではリスクをとる動きから株価は堅調に推移し、5月にFTSE100は2000年1月以来の高値となる6,875.62をつけましたが、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言後の6月にFTSE100は6,023.44まで反落しました。その後は、徐々に上値を切り上げ、1月には6,867.42と5月の高値に接近しました。S&P500も6月に下落する場面がありましたが、米国債務上限引き上げ合意や堅調な米企業業績、米金融緩和継続期待などを背景に株価は年末に向けて上昇傾向を示しました。年始以降の主に通貨安から生じた新興国懸念により株価が反落する局面もありましたが、年度末に向け株価は一段と上昇し、3月にS&P500は史上最高値更新となる1,883.97をつけました。期末は若干値を戻しS&P500が1,872.34、FTSE100は6,598.37で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは期初0.59%で始まり、4月に日銀の黒田新総裁による金融緩和策の一環として、買入れ国債の年限長期化が決定されたことから、10年国債利回りは0.32%と過去最低水準を更新しました。その後、市場で進行する円安・株高の影響等で10年国債利回りは5月に0.99%まで上昇しましたが、日銀の大量の国債買入により徐々に需給が引き締まり、10月に0.58%まで再び低下しました。年末には円安・株高の影響で10年国債利回りは0.75%まで上昇し、期末は0.64%で終了しました。

外国債券市場

期初、米国10年国債利回りは1.87%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で始まりました。米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等により、9月に米国10年国債利回りは3.00%まで上昇しました。また、独連邦議会選挙の結果、連立政権樹立への懸念やイタリア政局不安等から、ドイツ10年国債利回りは9月に2.08%まで上昇しました。11月には、ECBによる予想外の利下げが実施され、その後一進一退で推移しましたが、年始以降の通貨安等から生じた新興国懸念により利回りは低下傾向を示し、期末には米国10年国債利回りは2.71%、ドイツ10年国債利回りは、1.56%で終了しました。

外国為替市場

期初、1米ドル＝94.21円で始まりました。4月に日銀が導入を決定した「量的・質的金融緩和」等を背景に、5月に1米ドル＝103.74円となりました。一方、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等の影響により、6月には1米ドル＝93.79円の円高水準となりました。しばらくもみ合いの後、GPIFの運用資産構成比見直しによる外貨建て資産への投資拡大や日銀の追加緩和期待等を背景に12月には1米ドル＝105.41円となり、2008年10月以来の円安水準となりました。年明け以降、新興国通貨下落等の影響でやや円高方向に振れ、1米ドル＝103.07円で期末を迎えました。また、ユーロにつきましては期初、1ユーロ＝120.65円で始まりました。景況感の改善等を受けユーロはゆるやかに上昇し、12月に1ユーロ＝145.69円となった後、1ユーロ＝141.96円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2013年度決算(決算日：2014年3月31日)を行いました。当資料は2013年度の運用状況をご報告するものです。
最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。
当資料中の資産運用関係費用は、2014年3月31日現在の消費税率(5%)を適用した信託報酬率を記載しています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額	
	Rバランス 20	Rバランス 40
現預金・コールローン	11	126
有価証券	692	2,408
公社債	-	-
株式	-	-
外国証券	-	-
公社債	-	-
株式等	-	-
その他の証券	692	2,408
貸付金	-	-
その他	-	0
貸倒引当金	-	-
合計	704	2,535

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額	
	Rバランス 20	Rバランス 40
利息配当金等収入	935	53
有価証券売却益	-	-
有価証券償還益	-	-
有価証券評価益	104	52
為替差益	-	-
金融派生商品収益	-	-
その他の収益	-	-
有価証券売却損	-	39
有価証券償還損	-	-
有価証券評価損	806	-
為替差損	-	-
金融派生商品費用	-	-
その他の費用及び損失	-	-
収支差額	232	66

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
Rバランス 20	Rインデックス・バランス 20VA (適格機関投資家限定)	1,005,844	1,190,800	5,014,453	5,214,238
Rバランス 40	Rインデックス・バランス 40VA (適格機関投資家限定)	5,566,988	5,992,930	3,410,678	3,636,869

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅳ型)〈年金原資保証特約(Ⅳ型)付加〉 とどくんですプレミア	635	3,229

※単位未満切捨て

特別勘定の内容

特別勘定の名称	Rバランス20	Rバランス40	Rバランス60
特別勘定の運用方針	主な投資対象となる投資信託を通じ、実質的にデリバティブ取引等を活用して国内外の株式および債券等の値動きに連動する運用を行い、中長期的な財産の成長を目指します。		
	基本資産配分は国内株式5%、外国株式(為替ヘッジあり)15%、国内債券(短期金融資産を含む)50%、外国債券(為替ヘッジあり)15%、外国債券(為替ヘッジなし)15%です。	基本資産配分は国内株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)20%、外国株式(為替ヘッジなし)10%、国内債券(短期金融資産を含む)35%、外国債券(為替ヘッジなし)25%です。	基本資産配分は国内株式15%、外国株式(為替ヘッジあり)25%、外国株式(為替ヘッジなし)20%、国内債券(短期金融資産を含む)25%、外国債券(為替ヘッジなし)15%です。
	国内株式 5% 外国株式(為替ヘッジあり) 15% 国内債券 50% 外国債券(為替ヘッジあり) 15% 外国債券(為替ヘッジなし) 15%	国内株式 10% 外国株式(為替ヘッジあり) 20% 国内債券 35% 外国債券(為替ヘッジあり) 25% 外国債券(為替ヘッジなし) 10%	国内株式 15% 外国株式(為替ヘッジあり) 25% 国内債券 25% 外国株式(為替ヘッジなし) 20% 外国債券(為替ヘッジなし) 15%
主な投資対象となる投資信託と運用会社	Rインデックス・バランス20VA ^{*1}	Rインデックス・バランス40VA ^{*1}	Rインデックス・バランス60VA ^{*1}
	アムンディ・ジャパン		
上記投資信託の投資対象となる外国投資法人	グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ ^{*1*2}		
	シェア・クラスⅠ (グローバル・トラッカーⅡ 20)	シェア・クラスⅠ (グローバル・トラッカーⅡ 40)	シェア・クラスⅠ (グローバル・トラッカーⅡ 60)
上記外国投資法人の投資管理会社およびデリバティブ取引等の相手先	ゴールドマン・サックス・インターナショナル		
設定日	2010年3月11日	2013年3月29日	初回移転日 ^{*3}
移転条件 ^{*4}	積立金額が基本保険金額の110%未満	積立金額が基本保険金額の110%以上120%未満	積立金額が基本保険金額の120%以上
資産運用関係費用	年率0.18899%(税込)程度 ^{*5}		

*1 適格機関投資家限定

*2 グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡは、ルクセンブルク籍の外国投資法人(専門投資信託)であるゴールドマン・サックス・スペシャライズド・インベストメンツ内のポートフォリオで、上記の基本資産配分に応じた3つのシェア・クラス(グローバル・トラッカーⅡ 20、同40、同60)を発行します。このポートフォリオには投資顧問会社は指名されていません。なお、規定された投資方針に基づいた資産投資事務の遂行を投資管理会社が委託されています。

*3 当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

*4 移転条件とは基本保険金額に対する積立金額の所定の割合により3つの特別勘定間で積立金を自動的に移転する条件をいいます。

*5 資産運用関係費用は、「Rインデックス・バランス20VA」の信託報酬率 0.10899%(税抜0.1038%)と「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」の信託報酬率 0.08%の合計を記載しています。

Rインデックス・バランス40VA、Rインデックス・バランス60VAの信託報酬率は、Rインデックス・バランス20VAと同率です。信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。またこれらの費用は投資信託(外国投資法人を含む)の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

・変額個人年金保険GF(Ⅳ型)＜年金原資保証特約(Ⅳ型) 付加＞は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

特別勘定の運用状況

2014年3月末現在

Rバランス20

●ユニットプライスの推移



●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	692	98.4%
現預金その他	11	1.6%
純資産総額	704	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

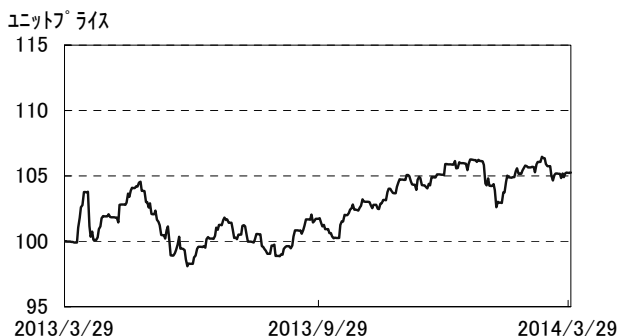
●ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

		ユニットプライス	前月比	
2013年4月30日		110.38	1.42%	
2013年5月31日		109.30	-0.98%	
2013年6月30日		107.37	-1.76%	
2013年7月31日		108.90	1.42%	
2013年8月31日		108.01	-0.82%	
2013年9月30日		110.00	1.85%	
2013年10月31日		111.02	0.93%	
2013年11月30日		111.59	0.51%	
2013年12月31日		111.50	-0.08%	
2014年1月31日		111.26	-0.22%	
2014年2月28日		112.17	0.82%	
2014年3月31日		111.84	-0.29%	
1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.29%	0.31%	1.68%	2.76%	11.86%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

Rバランス40

●ユニットプライスの推移



●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	2,408	95.0%
現預金その他	126	5.0%
純資産総額	2,535	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

		ユニットプライス	前月比	
2013年4月30日		102.06	2.08%	
2013年5月31日		102.08	0.02%	
2013年6月30日		98.27	-3.73%	
2013年7月31日		100.27	2.04%	
2013年8月31日		98.87	-1.40%	
2013年9月30日		101.76	2.92%	
2013年10月31日		103.21	1.43%	
2013年11月30日		104.70	1.45%	
2013年12月31日		105.90	1.14%	
2014年1月31日		104.24	-1.57%	
2014年2月28日		105.65	1.36%	
2014年3月31日		105.25	-0.38%	
1か月	3か月	6か月	1年	設定来
-0.38%	-0.61%	3.43%	5.27%	5.25%

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

Rバランス60

当特別勘定への初回移転日*を含む月の、翌月から作成する予定です。

*当該特別勘定に初めて積立金の自動移転が行われる日をいいます。

・変額個人年金保険GF(IV型)＜年金原資保証特約(IV型) 付加＞は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投資信託の運用状況

【特別勘定の名称】
Rバランス20

【特別勘定が投資する投資信託の名称】
Rインデックス・バランス20VA＜適格機関投資家限定＞

2014年3月31日現在

【主要投資対象】

デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式先物及び債券先物指数等の値動きに連動することを目標として運用を行う外国投資法人「ゴールドマン・サックス・スペシャライズド・インベストメンツ」のサブ・ファンドである「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）」の投資証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【運用方針】

「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）」の投資証券への投資を通じて、デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式及び債券等に分散投資します。実質的な目標資産配分は以下の通りです。対象投資証券が参照する指数バスケットを構成する各資産クラスは、実質的に目標資産配分となるよう対象投資証券において原則として月次で配分調整されます。配分調整後、次回調整日までの期間の資産配分は、各資産クラスの投資成果を反映し目標資産配分から乖離します。

日本株式	外国株式 (為替ヘッジあり)	日本債券	外国債券 (為替ヘッジあり)	外国債券 (為替ヘッジなし)
5%	15%	50%	15%	15%

◆ 基準価額の推移



・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	12,567 円
純資産総額	694 百万円
設定日	2010年3月11日
決算日	原則 3月10日
信託期間	無期限

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.06%	0.92%	3.17%	5.76%	21.82%	25.67%

◆ ポートフォリオ構成

名 称	組入比率
グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）	99.88%
現金等	0.12%
合計	100.00%

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定・解約分が反映されないことなどにより、現金等の比率が大きくプラスになる場合またはマイナスになる場合があります。

当ファンドが主要投資対象とするグローバル・トラッカーⅡ20の運用状況

ファンドの特色・・・スワップ取引及びレボ取引を通じて、日本を含む世界主要国の国債及び株式に対する分散されたエクスポージャーから投資収益を獲得することを投資目的とします。（当投資証券のベンチマークは「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークについて」に記載）

◆ 基準価額の推移



■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成している保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投資信託の運用状況

【特別勘定の名称】
Rバランス40

【特別勘定が投資する投資信託の名称】
Rインデックス・バランス40VA<適格機関投資家限定>

2014年3月31日現在

【主要投資対象】

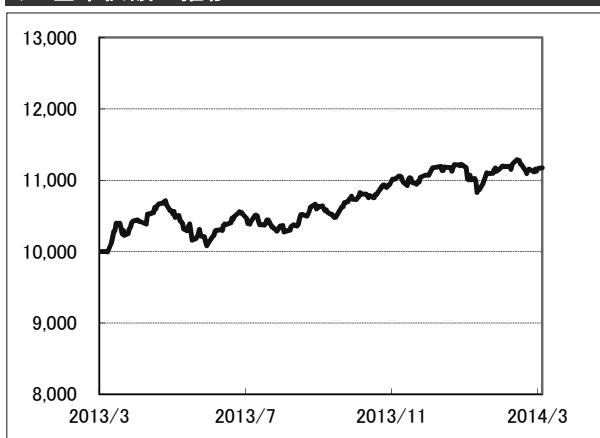
デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式先物及び債券先物指数等の値動きに連動することを目標として運用を行う外国投資法人「ゴールドマン・サックス・スペシャライズド・インベストメンツ」のサブ・ファンドである「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）」の投資証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【運用方針】

「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）」の投資証券への投資を通じて、デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式及び債券等に分散投資します。実質的な目標資産配分は以下の通りです。対象投資証券が参照する指数バスケットを構成する各資産クラスは、実質的に目標資産配分となるよう対象投資証券において原則として月次で配分調整されます。配分調整後、次回調整日までの期間の資産配分は、各資産クラスの投資成果を反映し目標資産配分から乖離します。

日本株式	外国株式 (為替ヘッジあり)	外国株式 (為替ヘッジなし)	日本債券	外国債券 (為替ヘッジなし)
10%	20%	10%	35%	25%

◆ 基準価額の推移



・基準価額は信託報酬控除後です。

・基準価額は特別勘定の設定日(2013年3月29日)から表示しています。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	11,171 円
純資産総額	2,410 百万円
設定日	2010年3月11日
決算日	原則 3月10日
信託期間	無期限

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.15%	-0.02%	5.00%	11.71%	-	11.71%

・設定来は、特別勘定の設定日(2013年3月29日)を基準に計算しております。

◆ ポートフォリオ構成

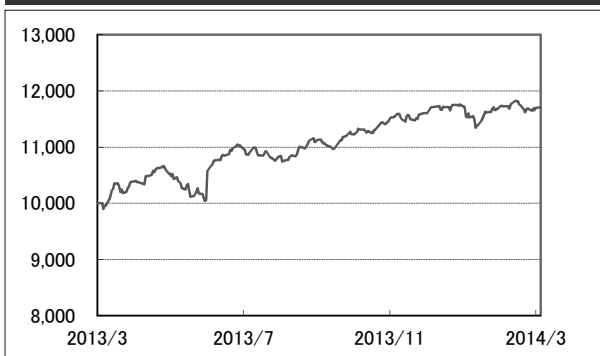
名 称	組入比率
グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）	99.62%
現金等	0.38%
合計	100.00%

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定・解約分が反映されないことなどにより、現金等の比率が大きくプラスになる場合またはマイナスになる場合があります。

当ファンドが主要投資対象とするグローバル・トラッカーⅡ40の運用状況

ファンドの特色・・・スワップ取引及びレポ取引を通じて、日本を含む世界主要国の国債及び株式に対する分散されたエクスポージャーから投資収益を獲得することを投資目的とします。(当投資証券のベンチマークは「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークについて」に記載)

◆ 基準価額の推移



・基準価額の推移は特別勘定の設定日(2013年3月29日)を10,000として表示しております。

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	12,043 円
純資産総額	2,401 百万円

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.14%	-0.01%	5.15%	17.05%	-	17.05%

・設定来は、特別勘定の設定日(2013年3月29日)を基準に計算しております。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆ 「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」のベンチマークについて

2014年3月31日現在

以下、「ゴールドマン・サックス・スペシャライズド・インベストメンツ」を「本投資法人」、「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」を「本ポートフォリオ」、「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡの投資証券」を「本投資証券」、「本投資証券への投資家」を「投資主」、「構成インデックスおよび構成サブ・インデックス」を「先物指数」ということがあります。

◆ グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークは、以下の各インデックスを各比率で合成した複合指数をベンチマークとします。

資産区分	構成インデックス		グローバル・トラッカーⅡ20構成比率	グローバル・トラッカーⅡ40構成比率
		構成サブ・インデックス		
日本株式	日本株式先物ロール戦略インデックス	—	5%	10%
外国株式 (ヘッジあり)	米国株式先物ロール戦略インデックス	—	15%	20%
	欧州株式先物ロール戦略インデックス	—		
外国株式 (ヘッジなし)	米国株式先物ロール戦略インデックス	—	—	10%
	欧州株式先物ロール戦略インデックス	—		
日本債券	日本国債先物ロール戦略インデックス	—	50%	35%
外国債券 (ヘッジあり)	グローバル国債先物バスケットインデックス	米国国債先物ロール戦略インデックス	15%	—
		欧州国債先物ロール戦略インデックス		
		英国国債先物ロール戦略インデックス		
外国債券 (ヘッジなし)	グローバル国債先物バスケットインデックス	米国国債先物ロール戦略インデックス	15%	25%
		欧州国債先物ロール戦略インデックス		
		英国国債先物ロール戦略インデックス		

構成インデックスまたは構成サブ・インデックス(併せて「先物指数」)が参照する先物取引が対象とする原資産

- ◇ 日本株式：日本株式先物ロール戦略インデックス[東証株価指数(TOPIX)]
- ◇ 外国株式：米国株式先物ロール戦略インデックス[S&P 500 Index]
欧州株式先物ロール戦略インデックス[EURO STOXX 50 Index]
- ◇ 日本債券：日本国債先物ロール戦略インデックス[10年物日本国債]
- ◇ 外国債券：グローバル国債先物バスケットインデックス：構成サブ・インデックス
 - 米国国債先物ロール戦略インデックス[10年物米国財務省証券]
 - 欧州国債先物ロール戦略インデックス[ドイツ国債]
 - 英国国債先物ロール戦略インデックス[英国国債]

* 各先物指数(グローバル国債先物バスケットインデックスを除く)は、上記[]内に記載された原資産を対象とする先物取引の直近限月のトータル・リターン(金利付収益)に連動するように開発された指数です。先物指数が参照するのは関連する先物取引の価格であるため、先物指数の値動きは先物取引が対象とする原資産である株価指数または国債の値動きに必ずしも連動するものではありません。また、これらの先物指数が参照する先物取引には四半期毎に満期が到来するため、直近限月の先物取引は一定のルールに基づいて第2限月の先物取引へ乗り替えられます(「ロール」)。このロールに伴って損益が発生する場合があること、またロールに伴う損益、金利その他の要因によって先物指数の値動きが関連する先物取引の値動きと連動しない場合があります。

* 外国株式及び外国債券資産の一部については、上記の指数バスケットに対して実質的にスワップ取引において為替ヘッジを行います。為替ヘッジは部分的に行われ、為替ヘッジの対象となる構成インデックス及び構成サブ・インデックスの加重評価額、日本円マネー・マーケット資産と外貨マネー・マーケット資産のパフォーマンスの差額を用いて計算されます。なお為替ヘッジは構成インデックスまたは構成サブ・インデックスの価額の計算後に適用され、当該価額自体には反映されません。

< 免責条項 >

欧州株式先物ロール戦略インデックス(本段落において以下「欧州株式先物インデックス」といいます)はGSIに帰属しますが、欧州株式先物インデックスの計算についてはストックス・リミテッド(以下「ストックス」といいます)に委託しております。ストックスは、本投資証券の投資主に対して一切の法的義務を負わず、また本ポートフォリオが発行する投資証券への投資に関する損失または損害に対して、何ら責任を負うことはできません。本投資証券の投資主は、インデックスの計算は第三者機関による膨大なデータに基づくものであり、エラーや遅延の影響を受けやすいことを了承し、同意します。そのため、欧州株式先物インデックスにエラーや遅延が生じる可能性があり、本ポートフォリオが発行するいずれかの種類の投資証券にも影響を及ぼす可能性があります。日本株式先物ロール戦略インデックス、日本国債先物ロール戦略インデックス、米国株式先物ロール戦略インデックス、グローバル国債先物バスケットインデックス、米国国債先物ロール戦略インデックス、欧州国債先物ロール戦略インデックス及び英国国債先物ロール戦略インデックス(本段落において以下「インデックス」といいます)はGSIに排他的に帰属しますが、インデックスの管理・計算についてはスタンダード&プアーズ(以下「S&P」といいます)に委託しております。S&P及びその関連会社は、インデックスの計算に際して間違いまたは過失に対し責任を負うものではありません。先物指数への投資のリスクおよび免責条項の詳細については、「特別勘定のしおり」を必ずご覧ください。

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動フィナンシャル生命より提供するものであり、東京海上日動フィナンシャル生命はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、運用期間中の下記「保険関係費用(保険契約管理費)」、「資産運用関係費用(資産運用管理費)」および年金支払期間中の下記「保険関係費用(年金管理費)」を合計した金額となります。また、運用成果を確保した場合は運用成果確保時費用が、運用成果を確保する前に解約・積立金の一部引出をした場合は解約控除が、経過年数に応じて別途かかります。

	項 目	内 容	費 用	備考(適用時期等)
運用 期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	新契約成立および維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用等を含みます)	年率 2.78%	特別勘定の純資産総額に対して左記の年率/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用 関係費用 ^{*1} (資産運用管理費)	保険関係費用(保険契約管理費)以外で、特別勘定の運用にかかる費用(信託報酬率を記載しています)	年率 0.18899% (税込)程度	特別勘定の投資対象となる投資信託等の純資産総額に対して左記の年率/365日を乗じた額を毎日控除します。
運用成果 確保時	運用成果 確保時費用	契約日から1年以上6年未満に運用成果を確保した場合にかかる費用	5.0%~1.0%	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に左記の率を乗じた額を積立金額から控除します。
解約・積立金の 一部引出時	解約控除	契約日から6年未満に解約もしくは積立金の一部引出をした場合 ^{*2} にかかる費用	6.0%~1.0%	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額 ^{*3} に左記の率を乗じた額を積立金額(積立金の一部引出の場合は一部引出額)から控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	契約の維持管理等に必要な費用	1.0%以内	年金支払開始日以降、年金年額に左記の率を乗じた額を毎年の年金支払日に責任準備金から控除します。

*1 資産運用関係費用は、投資信託(外国投資法人を含む)の信託報酬率の合計を記載しています。信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託(外国投資法人を含む)の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 運用成果を確保した後の積立金の全額引出・一部引出には解約控除は適用されません。

*3 積立金の一部引出の場合は、一部引出により減額される基本保険金額となります。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(変額個人年金保険)です。特別勘定は実質的にデリバティブ取引等を活用して国内外の株式・債券等の値動きに連動することを目指す投資信託に投資されますので、ご契約者は収益を期待できる一方、株価や債券価格等の下落・金利や為替の変動等の投資リスクも負うことになります。そのため、運用実績およびご負担いただく費用により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります。また、積立金の自動移転が生じた場合には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■変額個人年金保険GF(IV型)<年金原資保証特約(IV型)付加>は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■変額個人年金保険GF(IV型)<年金原資保証特約(IV型)付加>は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額(一時払保険料相当額)を下回った場合には、基本保険金額(一時払保険料相当額)の100%が年金原資として最低保証されます。

ただし、年金原資が保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。運用期間中に解約・積立金の一部引出をした場合の解約払戻金額には最低保証はありません。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社
〒167-0043
東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー
TEL 03-6383-6811(大代表)
ホームページ <http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは
0120-155-730

受付時間 月～金/9:00～17:00
(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)



212404